

改 正 後	改 正 前				
<p>個⑥012 資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入に関する明細書【一面】</p> <p style="text-align: center;">資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入に関する明細書</p> <div style="text-align: center; margin-top: -10px;">(平成25年分) 所得用 氏名 _____</div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">平成25年外消費税額等に生じた必要経費算入額等の明細</td> <td style="width: 80%; vertical-align: top;"> <p>課税仕入れ等の税額等 ① 円 ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象仕入税額等 ② ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象外消費税額等 (① - ②) (赤字のときは0)</p> <p>③のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>④のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>⑤のうち資産に係るもの以外のものの金額</p> <p>消費税の課税売上割合 ⑥ ←平成25年分の必要経費に算入します。 この割合が80% (端数処理は行いません。) 以上の場合は、④欄の金額を平成25年分の必要経費に算入します。 ●この場合には、⑦欄～⑪欄は書かないでください。</p> <p>課税仕入額等の合計額 ⑦ ←④のうちの金額と⑤の合計額</p> <p>⑧のうちの金額と⑨の合計額</p> <p>課税延滞消費税額等 (① - ⑦ - ⑧) ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>⑩のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{③} \times \frac{60}{100} \times \frac{1}{2})$</p> <p>平成26年分以後の年分に平成25年分に算入する金額 ⑪ ←「-」の空欄には、その年ににおいて事業所得等を生ずべき業務を行っていた期間の月数を書きます。</p> <p>平成24年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑩の金額) ⑫</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑪の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑪} \times \frac{60}{100})$ ⑮ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成23年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成22年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成21年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成20年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←この金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>※ ⑥欄の分母及び分子の金額は次の金額を書きます。 分子 = 課税資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (輸出取引等の金額を含みます。) 分母 = 資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (非課税取引及び輸出取引等の金額を含みます。) (注) 売上対価の返還等の金額がある場合は、分母及び分子の金額から控除します。</p> </td> </tr> </table> </div>	平成25年外消費税額等に生じた必要経費算入額等の明細	<p>課税仕入れ等の税額等 ① 円 ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象仕入税額等 ② ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象外消費税額等 (① - ②) (赤字のときは0)</p> <p>③のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>④のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>⑤のうち資産に係るもの以外のものの金額</p> <p>消費税の課税売上割合 ⑥ ←平成25年分の必要経費に算入します。 この割合が80% (端数処理は行いません。) 以上の場合は、④欄の金額を平成25年分の必要経費に算入します。 ●この場合には、⑦欄～⑪欄は書かないでください。</p> <p>課税仕入額等の合計額 ⑦ ←④のうちの金額と⑤の合計額</p> <p>⑧のうちの金額と⑨の合計額</p> <p>課税延滞消費税額等 (① - ⑦ - ⑧) ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>⑩のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{③} \times \frac{60}{100} \times \frac{1}{2})$</p> <p>平成26年分以後の年分に平成25年分に算入する金額 ⑪ ←「-」の空欄には、その年ににおいて事業所得等を生ずべき業務を行っていた期間の月数を書きます。</p> <p>平成24年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑩の金額) ⑫</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑪の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑪} \times \frac{60}{100})$ ⑮ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成23年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成22年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成21年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成20年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←この金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>※ ⑥欄の分母及び分子の金額は次の金額を書きます。 分子 = 課税資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (輸出取引等の金額を含みます。) 分母 = 資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (非課税取引及び輸出取引等の金額を含みます。) (注) 売上対価の返還等の金額がある場合は、分母及び分子の金額から控除します。</p>	<p>個⑥012 資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入に関する明細書【一面】</p> <p style="text-align: center;">資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入に関する明細書</p> <div style="text-align: center; margin-top: -10px;">(平成24年分) 所得用 氏名 _____</div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">平成24年外消費税額等に生じた必要経費算入額等の明細</td> <td style="width: 80%; vertical-align: top;"> <p>この明細書は、申告書と一緒に提出してください。</p> <p>課税仕入れ等の税額等 ① 円 ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象仕入税額等 ② ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象外消費税額等 (① - ②) (赤字のときは0)</p> <p>③のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>④のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>⑤のうち資産に係るもの以外のものの金額</p> <p>消費税の課税売上割合 ⑥ ←平成24年分の必要経費に算入します。 この割合が80% (端数処理は行いません。) 以上の場合は、④欄の金額を平成24年分の必要経費に算入します。 ●この場合には、⑦欄～⑪欄は書かないでください。</p> <p>課税延滞消費税額等の合計額 ⑦ ←④のうちの金額と⑤の合計額</p> <p>⑧のうちの金額と⑨の合計額</p> <p>課税延滞消費税額等 (① - ⑦ - ⑧) ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>⑩のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{③} \times \frac{60}{100} \times \frac{1}{2})$ ⑪ ←「-」の空欄には、その年ににおいて事業所得等を生ずべき業務を行っていた期間の月数を書きます。</p> <p>平成23年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑩の金額) ⑫</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑪の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑪} \times \frac{60}{100})$ ⑮ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成22年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成21年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成20年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←この金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>※ ⑥欄の分母及び分子の金額は次の金額を書きます。 分子 = 課税資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (輸出取引等の金額を含みます。) 分母 = 資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (非課税取引及び輸出取引等の金額を含みます。) (注) 売上対価の返還等の金額がある場合は、分母及び分子の金額から控除します。</p> </td> </tr> </table> </div>	平成24年外消費税額等に生じた必要経費算入額等の明細	<p>この明細書は、申告書と一緒に提出してください。</p> <p>課税仕入れ等の税額等 ① 円 ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象仕入税額等 ② ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象外消費税額等 (① - ②) (赤字のときは0)</p> <p>③のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>④のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>⑤のうち資産に係るもの以外のものの金額</p> <p>消費税の課税売上割合 ⑥ ←平成24年分の必要経費に算入します。 この割合が80% (端数処理は行いません。) 以上の場合は、④欄の金額を平成24年分の必要経費に算入します。 ●この場合には、⑦欄～⑪欄は書かないでください。</p> <p>課税延滞消費税額等の合計額 ⑦ ←④のうちの金額と⑤の合計額</p> <p>⑧のうちの金額と⑨の合計額</p> <p>課税延滞消費税額等 (① - ⑦ - ⑧) ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>⑩のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{③} \times \frac{60}{100} \times \frac{1}{2})$ ⑪ ←「-」の空欄には、その年ににおいて事業所得等を生ずべき業務を行っていた期間の月数を書きます。</p> <p>平成23年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑩の金額) ⑫</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑪の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑪} \times \frac{60}{100})$ ⑮ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成22年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成21年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成20年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←この金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>※ ⑥欄の分母及び分子の金額は次の金額を書きます。 分子 = 課税資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (輸出取引等の金額を含みます。) 分母 = 資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (非課税取引及び輸出取引等の金額を含みます。) (注) 売上対価の返還等の金額がある場合は、分母及び分子の金額から控除します。</p>
平成25年外消費税額等に生じた必要経費算入額等の明細	<p>課税仕入れ等の税額等 ① 円 ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象仕入税額等 ② ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象外消費税額等 (① - ②) (赤字のときは0)</p> <p>③のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>④のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>⑤のうち資産に係るもの以外のものの金額</p> <p>消費税の課税売上割合 ⑥ ←平成25年分の必要経費に算入します。 この割合が80% (端数処理は行いません。) 以上の場合は、④欄の金額を平成25年分の必要経費に算入します。 ●この場合には、⑦欄～⑪欄は書かないでください。</p> <p>課税仕入額等の合計額 ⑦ ←④のうちの金額と⑤の合計額</p> <p>⑧のうちの金額と⑨の合計額</p> <p>課税延滞消費税額等 (① - ⑦ - ⑧) ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>⑩のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{③} \times \frac{60}{100} \times \frac{1}{2})$</p> <p>平成26年分以後の年分に平成25年分に算入する金額 ⑪ ←「-」の空欄には、その年ににおいて事業所得等を生ずべき業務を行っていた期間の月数を書きます。</p> <p>平成24年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑩の金額) ⑫</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑪の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑪} \times \frac{60}{100})$ ⑮ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成23年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成22年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成21年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成20年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑭の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑮のうち平成25年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←この金額は、平成25年分の必要経費に算入します。</p> <p>※ ⑥欄の分母及び分子の金額は次の金額を書きます。 分子 = 課税資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (輸出取引等の金額を含みます。) 分母 = 資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (非課税取引及び輸出取引等の金額を含みます。) (注) 売上対価の返還等の金額がある場合は、分母及び分子の金額から控除します。</p>				
平成24年外消費税額等に生じた必要経費算入額等の明細	<p>この明細書は、申告書と一緒に提出してください。</p> <p>課税仕入れ等の税額等 ① 円 ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象仕入税額等 ② ←二面の⑩の金額を転記します。</p> <p>控除対象外消費税額等 (① - ②) (赤字のときは0)</p> <p>③のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>④のうち資産に係るもの (資産に係る控除対象外消費税額等)</p> <p>⑤のうち資産に係るもの以外のものの金額</p> <p>消費税の課税売上割合 ⑥ ←平成24年分の必要経費に算入します。 この割合が80% (端数処理は行いません。) 以上の場合は、④欄の金額を平成24年分の必要経費に算入します。 ●この場合には、⑦欄～⑪欄は書かないでください。</p> <p>課税延滞消費税額等の合計額 ⑦ ←④のうちの金額と⑤の合計額</p> <p>⑧のうちの金額と⑨の合計額</p> <p>課税延滞消費税額等 (① - ⑦ - ⑧) ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>⑩のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{③} \times \frac{60}{100} \times \frac{1}{2})$ ⑪ ←「-」の空欄には、その年ににおいて事業所得等を生ずべき業務を行っていた期間の月数を書きます。</p> <p>平成23年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑩の金額) ⑫</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑪の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑪} \times \frac{60}{100})$ ⑮ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成22年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成21年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←これらの金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>平成20年に生じた課税延滞消費税額等 (前年の⑬の金額) ⑯</p> <p>⑬のうち前年から繰り越された課税延滞消費税額等 (前年の⑯の金額) ⑯</p> <p>⑭のうち平成24年分の必要経費算入額 $(\text{⑯} \times \frac{60}{100})$ ⑯ ←この金額は、平成24年分の必要経費に算入します。</p> <p>※ ⑥欄の分母及び分子の金額は次の金額を書きます。 分子 = 課税資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (輸出取引等の金額を含みます。) 分母 = 資産の譲渡等の対価の額 (税抜) (非課税取引及び輸出取引等の金額を含みます。) (注) 売上対価の返還等の金額がある場合は、分母及び分子の金額から控除します。</p>				

改 正 後	改 正 前																																													
<p>個⑥012 資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入に関する明細書【二面】</p> <div style="text-align: right; margin-top: -20px;">二 面</div> <p>● この明細書は、消費税及び地方消費税（以下「消費税等」といいます。）の経理処理について税抜経理方式（消費税等の額と当該消費税等に係る取引の対価の額とを区分して経理する方式をいいます。）を採用している方が、平成25年分の課税仕入れ等の消費税額のうち、仕入税額控除をすることができない金額（控除対象外消費税額）と、その控除対象外消費税額に係る地方消費税の額に相当する金額との合計額（控除対象外消費税額等）で、資産に係るものがある場合や、平成20年、平成21年、平成22年、平成23年、平成24年に生じた繰延消費税額等がある場合で、所得税法施行令第182条の2（資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入）の規定の適用を受けるときに使用します。</p> <p>● この明細書に関する詳しいことは、税務署におたずねください。</p> <p>● 平成25年に生じた課税仕入れ等の税額等及び控除対象仕入税額等の内訳</p> <p>（①欄には消費税法第30条第2項（控除対象仕入税額の計算方法）及び同法第37条第1項（簡易課税制度）の規定を適用する前の仕入れに係る消費税額を、②欄にはこれらの規定を適用した後の仕入れに係る消費税額を書きます。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">消 費 税 額</th> <th style="text-align: center;">地方消費税相当額</th> <th style="text-align: center;">計</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課税仕入れ等の税額等</td> <td style="text-align: center;">① 円</td> <td style="text-align: center;">② (①×1/4) 円</td> <td style="text-align: center;">③ (①+②) 円</td> <td style="text-align: center;">④ (③+⑤) 円</td> </tr> <tr> <td>控除対象仕入税額等</td> <td style="text-align: center;">⑤ 円</td> <td style="text-align: center;">⑥ (⑤×1/4) 円</td> <td style="text-align: center;">⑦ (⑤+⑥) 円</td> <td style="text-align: center;">⑧ (④+⑦) 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 平成24年に生じた課税仕入れ等の税額等及び控除対象仕入税額等の内訳</p> <p>（①欄には消費税法第30条第2項（控除対象仕入税額の計算方法）及び同法第37条第1項（簡易課税制度）の規定を適用する前の仕入れに係る消費税額を、②欄にはこれらの規定を適用した後の仕入れに係る消費税額を書きます。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">消 費 税 額</th> <th style="text-align: center;">地方消費税相当額</th> <th style="text-align: center;">計</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課税仕入れ等の税額等</td> <td style="text-align: center;">① 円</td> <td style="text-align: center;">② (①×1/4) 円</td> <td style="text-align: center;">③ (①+②) 円</td> <td style="text-align: center;">④ (③+⑤) 円</td> </tr> <tr> <td>控除対象仕入税額等</td> <td style="text-align: center;">⑤ 円</td> <td style="text-align: center;">⑥ (⑤×1/4) 円</td> <td style="text-align: center;">⑦ (⑤+⑥) 円</td> <td style="text-align: center;">⑧ (④+⑦) 円</td> </tr> </tbody> </table>		消 費 税 額	地方消費税相当額	計		課税仕入れ等の税額等	① 円	② (①×1/4) 円	③ (①+②) 円	④ (③+⑤) 円	控除対象仕入税額等	⑤ 円	⑥ (⑤×1/4) 円	⑦ (⑤+⑥) 円	⑧ (④+⑦) 円		消 費 税 額	地方消費税相当額	計		課税仕入れ等の税額等	① 円	② (①×1/4) 円	③ (①+②) 円	④ (③+⑤) 円	控除対象仕入税額等	⑤ 円	⑥ (⑤×1/4) 円	⑦ (⑤+⑥) 円	⑧ (④+⑦) 円	<p>個⑥012 資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入に関する明細書【二面】</p> <div style="text-align: right; margin-top: -20px;">二 面</div> <p>● この明細書は、消費税及び地方消費税（以下「消費税等」といいます。）の経理処理について税抜経理方式（消費税等の額と当該消費税等に係る取引の対価の額とを区分して経理する方式をいいます。）を採用している方が、平成24年分の課税仕入れ等の消費税額のうち、仕入税額控除をすることができない金額（控除対象外消費税額）と、その控除対象外消費税額に係る地方消費税の額に相当する金額との合計額（控除対象外消費税額等）で、資産に係るものがある場合や、平成19年、平成20年、平成21年、平成22年、平成23年に生じた繰延消費税額等がある場合で、所得税法施行令第182条の2（資産に係る控除対象外消費税額等の必要経費算入）の規定の適用を受けるときに使用します。</p> <p>● この明細書に関する詳しいことは、税務署におたずねください。</p> <p>● 平成24年に生じた課税仕入れ等の税額等及び控除対象仕入税額等の内訳</p> <p>（①欄には消費税法第30条第2項（控除対象仕入税額の計算方法）及び同法第37条第1項（簡易課税制度）の規定を適用する前の仕入れに係る消費税額を、②欄にはこれらの規定を適用した後の仕入れに係る消費税額を書きます。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">消 費 税 額</th> <th style="text-align: center;">地方消費税相当額</th> <th style="text-align: center;">計</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課税仕入れ等の税額等</td> <td style="text-align: center;">① 円</td> <td style="text-align: center;">② (①×1/4) 円</td> <td style="text-align: center;">③ (①+②) 円</td> <td style="text-align: center;">④ (③+⑤) 円</td> </tr> <tr> <td>控除対象仕入税額等</td> <td style="text-align: center;">⑤ 円</td> <td style="text-align: center;">⑥ (⑤×1/4) 円</td> <td style="text-align: center;">⑦ (⑤+⑥) 円</td> <td style="text-align: center;">⑧ (④+⑦) 円</td> </tr> </tbody> </table>		消 費 税 額	地方消費税相当額	計		課税仕入れ等の税額等	① 円	② (①×1/4) 円	③ (①+②) 円	④ (③+⑤) 円	控除対象仕入税額等	⑤ 円	⑥ (⑤×1/4) 円	⑦ (⑤+⑥) 円	⑧ (④+⑦) 円
	消 費 税 額	地方消費税相当額	計																																											
課税仕入れ等の税額等	① 円	② (①×1/4) 円	③ (①+②) 円	④ (③+⑤) 円																																										
控除対象仕入税額等	⑤ 円	⑥ (⑤×1/4) 円	⑦ (⑤+⑥) 円	⑧ (④+⑦) 円																																										
	消 費 税 額	地方消費税相当額	計																																											
課税仕入れ等の税額等	① 円	② (①×1/4) 円	③ (①+②) 円	④ (③+⑤) 円																																										
控除対象仕入税額等	⑤ 円	⑥ (⑤×1/4) 円	⑦ (⑤+⑥) 円	⑧ (④+⑦) 円																																										
	消 費 税 額	地方消費税相当額	計																																											
課税仕入れ等の税額等	① 円	② (①×1/4) 円	③ (①+②) 円	④ (③+⑤) 円																																										
控除対象仕入税額等	⑤ 円	⑥ (⑤×1/4) 円	⑦ (⑤+⑥) 円	⑧ (④+⑦) 円																																										